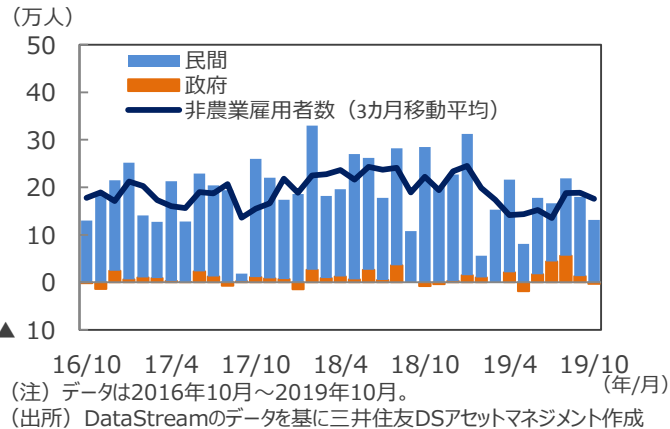




## 今日のトピック 予想を上回る伸びとなった米雇用統計 生産調整は底入れが近く、株式市場の追い風に

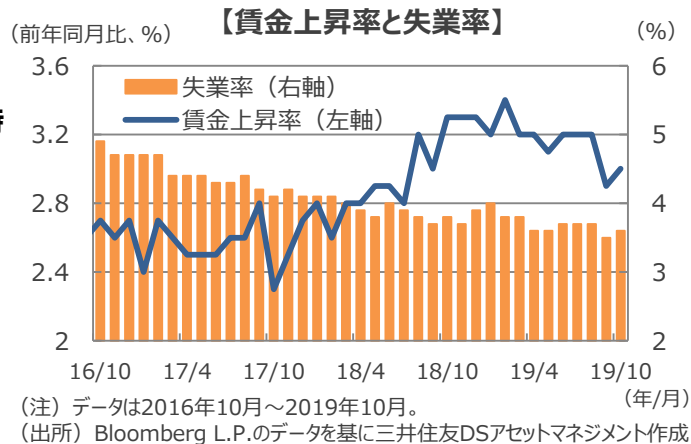
### ポイント1 雇用者数は予想を上回る伸び 【非農業部門雇用者数の推移（前月比増減）】 過去分も上方修正

- 2019年10月の米非農業部門雇用者数は前月比12.8万人増となりました。自動車関連のストライキの影響で前月（18万人増）から減速したものの、ブルームバーグ集計による市場予想（8.5万人増）を上回る伸びとなりました。また、過去分も8、9月分それぞれ5.1万人増、4.4万人増の大きな上方修正が入りました。
- これにより、3カ月移動平均は17.6万人、6カ月平均では15.6万人となり、雇用情勢の底堅さを示す結果となりました。



### ポイント2 賃金は伸びが上昇 失業率は約50年ぶり低水準を維持

- 10月の賃金は前年同月比3.0%増となりました。前月比は0.2%増と、市場予想をやや下回りましたが、横ばいだった前月からは伸びが高まりました。
- 失業率は3.6%となりました。前月から0.1%悪化しましたが、就業者数の増加以上に労働者人口が増加したことによるものであり、失業率は約50年ぶりとなる低水準を維持しています。



### 今後の展開 生産調整は一巡し、景気循環はボトムアウトの可能性

- 堅調な雇用統計を受けて米景気の減速懸念が和らいだことから、1日の米国市場では株価が上昇し、ナスダック総合指数とS&P500種指数は過去最高値を更新しました。長期金利は低下（価格は上昇）しました。
- なお、同日に発表された全米供給管理協会（ISM）製造業景況感指数は48.3と、前月の47.8から、わずかながら上昇に転じました。米国の複数の製造業景況感が悪化の一途を辿る動きからまちまちへ転じてきたことや、米中貿易協議が進展していること、在庫調整が進んでいることに加えて雇用統計で内需の底堅さが確認できたことから見て、生産調整はそろそろ一巡し景気循環がボトムアウトする可能性が高まっているとみられます。これは業績改善を通じて株式市場の追い風になると考えられます。

ここもチェック! 2019年10月31日 FRBは0.25%の利下げを実施、政策金利は当面据え置きへ  
2019年10月28日 2019年11月の注目イベント

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。